

認知症の普及啓発について ~諫早市の目指すところ~

大目標

目的

《 認知症に対する市民の関心と対応の変化 》



小目標

- 関心の有無にかかわらず、日常的に認知症の情報に触れることができる環境づくり
- 関心を持つ市民がより積極的に情報を得ることができる環境づくり
- 認知症の病態を理解し、対応を学べる環境づくり
- 認知症の人と家族にかかわり必要な支援を知ることができる環境づくり
- 認知症の人の意思を尊重し、活躍できる環境づくり

事業

- 認知症サポーター養成講座(学童・児童・生徒) 令和3年~(消防団・図書館・市職員)
- 広報いさはや 特集記事(9月号)、4コマ漫画掲載(令和3年9月号~令和4年4月号 計7回)
- 世界アルツハイマーデーの取り組み(図書館で特設コーナー設置)
- 認知症講演会の開催
- 認知症多職種協働研修
- 認知症サポーター養成講座(職域・地域)
- 認知症ケアパス・オレンジガイドの普及
- いさはやオレンジ手帳書き方講習会(介護予防教室にて実施)
- 認知症SOS模擬訓練
- オレンジ連携シート活用
- 認知症の人と家族の会の支援・認知症カフェの支援(令和3年~ホームページ掲載)

【令和4年度取り組み予定】

- オレンジライトアップ
- いさはやオレンジガイドの普及
- 住民主体の認知症SOS模擬訓練

○本人・家族が悩みを抱え込むことなく相談ができる地域

○行方不明になっても安全に自宅に帰りつくことができる地域

認知症への偏見がなくなり、認知症の人と

支え合うことができる地域

認知症になっても住み慣れた場所で安心して生活できる地域づくり